

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

| | |
|------|--------------|
| 学校名 | 東京保育医療秘書専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人 三幸学園 |

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

| 課程名 | 学科名 | 夜間・通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数 | 省令で定める基準単位数又は授業時数 | 配置困難 |
|-------------|---------|-----------|-----------------------------|-------------------|------|
| 教育・社会福祉専門課程 | 保育科 | 夜・通信 | 64 | 6単位 | |
| | こども総合学科 | 夜・通信 | 94 | 9単位 | |
| 商業実務専門課程 | 医療秘書科 | 夜・通信 | 85 | 6単位 | |
| | 医療AI科 | 夜・通信 | 73 | 6単位 | |
| (備考) | | | | | |

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

| |
|---|
| https://www.sanko.ac.jp/disclosure/tachikawa-child/ |
|---|

3. 要件を満たすことが困難である学科

| |
|-----------|
| 学科名 |
| (困難である理由) |

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

| | |
|------|--------------|
| 学校名 | 東京保育医療秘書専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人 三幸学園 |

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/yakuinmeibo.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

| 常勤・非常勤の別 | 前職又は現職 | 任期 | 担当する職務内容 や期待する役割 |
|----------|--------|---------------------|---------------------|
| 非常勤 | 弁護士 | R2.4.1 ~ R6.3.31 | 法務 |
| 非常勤 | 公認会計士 | R2.4.1 ~ R6.3.31 | 財務 |
| (備考) | | | |

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

| | |
|------|--------------|
| 学校名 | 東京保育医療秘書専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人 三幸学園 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

| | |
|---|---|
| <p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> | |
| <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。</p> <p>原則として法人統一の様式を使用し、客観的に分かりやすい「授業計画」「到達目標」「成績評価基準」を作成・公表している。</p> <p>公表はインターネットによる他、授業内で当該生徒へ説明する。また、習熟度等に応じて授業計画が変更される場合は、都度説明を行うものとする。(公表の時期は毎年度4月を目途とする)</p> | |
| 授業計画書の公表方法 | https://www.sanko.ac.jp/disclosure/tachikawa-child/ |
| <p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> | |

| | |
|--|--|
| <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。</p> <p>科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。</p> <p>なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。</p> | |
| <p>3. 成績評価において、G P A 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> | |
| <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>全履修科目の評定（5 点法で示されたもの）の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に 2 回（期末ごとに）一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。</p> | |
| <p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p> | <p>https://www.sanko.ac.jp/disclosure/tachikawa-child/docs/schoolinfo.pdf</p> |
| <p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> | |

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。

なお、卒業を認める者については課程において設定した目指すべき人材像を満たすことを求める。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://www.sanko.ac.jp/disclosure/tachikawa-child/docs/schoolinfo.pdf>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

| | |
|------|--------------|
| 学校名 | 東京保育医療秘書専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人 三幸学園 |

1. 財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|--------------|---|
| 貸借対照表 | https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/zaimu.pdf |
| 収支計算書又は損益計算書 | https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/zaimu.pdf |
| 財産目録 | https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf |
| 事業報告書 | https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf |
| 監事による監査報告（書） | https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------|----|---------------------------|--------------|----------|---------|---------|---------|
| 教育・社会福祉 | | 教育・社会福祉 専門課程 | 保育科 (単位制) | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 62単位 | 33 単位 | 53 単位 | 8 単位 | 0 単位 | 1 単位 |
| | | | 単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 216人 | | 73人 | 0人 | 10人 | 20人 | 29人 | |

| |
|---|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| （概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。 |
| 成績評価の基準・方法 |
| （概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき100点法で素点を出し、それを20で割り四捨五入した5点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は1とする。 |
| 卒業・進級の認定基準 |

| |
|---|
| <p>(概要)</p> <p>本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。</p> <p><目指すべき人材像></p> <p>学園の教育理念に基づき、2年間の学修を通じて、保育・福祉・教育の現場に必要な専門知識・技術を修得し、皆から信頼、感謝される態度・人間性を身につけ、社会でこどもの未来を育む人財に専門士を授与する。卒業までの学びの到達目標は以下の通り設定される。</p> <p>(1) 専門的な知識・技術の習得こどもに対する愛情を持ち、保育と子育てに関する専門的知識や技術を習得するとともに、生涯にわたって学び続けようという姿勢を持つことができる</p> <p>(2) 現場で活躍できる実践力学んだ知識や技術を活用し、周囲と連携しながらこども一人一人に合った保育を実践し、質の高い保育の実践を求めて成長し続けることができる</p> <p>(3) 皆から信頼される人間性社会人として必要な挨拶、マナーを身につけ、素直な心・感謝の気持ち・高い意欲を持ち続け、自ら考え自ら行動することで社会に貢献することができる</p> <p>学修支援等</p> |
| <p>(概要)</p> <p>クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。</p> |

| | | | |
|--|------------|-------------------|---------------|
| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 39人 (100%) | 0人 (0%) | 32人 (82.1%) | 7人 (17.9%) |
| (主な就職、業界等) 保育園・幼稚園・施設 等 | | | |
| (就職指導内容) Wフォローアップ制度（生徒1名に対し教員2名が就職活動をサポート） 就職ガイダンスの実施・WEB求人検索システム「さんこうほいくナビ」の活用 リクルートスタイル指導・ESシート、履歴書の個別添削・個別面接指導 | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) 保育士・幼稚園教諭二種免許・社会福祉主事任用資格 等 | | | |
| (備考)（任意記載事項） | | | |

| | | |
|----------|----------------|-----|
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |

| | | |
|---|----|-----|
| 82人 | 9人 | 11% |
| (中途退学の主な理由) 学校生活不適應・心神耗弱 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) <ul style="list-style-type: none"> ・入学前保護者会にて保護者の方へ学校生活のサポートを依頼 ・担任が入学後に一人ひとりと面談を実施 ・無断欠席者へ当日中に本人、あるいは保護者へ電話連絡し、状況の確認を行う。 ・担任会議にてクラス状況報告(学生情報)の共有を行い、学校教職員全体で生徒状況を把握し対応する。 ・学生の状況によっては、カウンセリング受診を推奨(スクールカウンセラーによる) | | |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------|----|---------------------------|------------------|-----------|----------|---------|---------|
| 教育・社会福祉 | | 教育・社会福祉 専門課程 | こども総合学科 (単位制) | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 3年 | 昼 | 93単位 | 33 単位 | 111 単位 | 12 単位 | 0 単位 | 1 単位 |
| | | | 単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 216人 | | 66人 | 0人 | 7人 | 19人 | 27人 | |

| |
|---|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 教務規程に基づき、各学生の学習成果(試験、レポートの他、平素の履修状況等)を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき100点法で素点を出し、それを20で割り四捨五入した5点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は1とする。 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。 |
| <目指すべき人材像> 学園の教育理念に基づき、3年間の学修を通じて、保育・福祉・教育の現場に必要な専門知識・技術を修得し、さらに専門性を高めて実践力と自身の強みを向上させ、 |

| |
|--|
| <p>皆から信頼、感謝される態度・人間性を身につけ、社会でこどもの未来を育む人材に専門士を授与する。卒業までの学びの到達目標は以下の通り設定される。</p> <p>(1) 専門的な知識・技術の習得こどもに対する愛情を持ち、保育と子育てに関する専門的知識や技術、こどもに関する教養やスキルを習得するとともに、生涯にわたって学び続けようという姿勢を持つことができる</p> <p>(2) 現場で活躍できる実践力学んだ知識や技術を活用し、周囲と連携しながらこども一人一人に合った保育を実践し、質の高い保育の実践や社会の発展を求めて成長し続けることができる</p> <p>(3) 皆から信頼される人間性社会人として必要な挨拶、マナーを身につけ、素直な心・感謝の気持ち・高い意欲を持ち続け、自ら考え自ら行動することで社会に貢献することができる</p> |
| 学修支援等 |
| <p>(概要)</p> <p>クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。</p> |

| | | | |
|---|------------|-------------------|--------------|
| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 16人 (100%) | 0人 (0%) | 15人 (93.8%) | 1人 (6.2%) |
| (主な就職、業界等) 保育園・幼稚園・施設 等 | | | |
| (就職指導内容) Wフォローアップ制度（生徒1名に対し教員2名が就職活動をサポート） 就職ガイダンスの実施・WEB求人検索システム「さんこうほいくナビ」の活用 リクルースタイル指導・ESシート、履歴書の個別添削・個別面接指導 | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) 保育士・幼稚園教諭二種免許・社会福祉主事任用資格 等 | | | |
| (備考)（任意記載事項） | | | |

| | | |
|--|----------------|------|
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 61人 | 4人 | 6.6% |
| (中途退学の主な理由) 学校生活不適應・進路変更 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) ・入学前保護者会にて保護者の方へ学校生活のサポートを依頼 ・担任が入学後に一人ひとりと面談を実施 ・無断欠席者へ当日中に本人、あるいは保護者へ電話連絡し、状況の確認を行う。 | | |

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・担任会議にてクラス状況報告（学生情報）の共有を行い、学校教職員全体で生徒状況を把握し対応する。 ・学生の状況によっては、カウンセリング受診を推奨（スクールカウンセラーによる） |
|---|

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------|----|---------------------------|----------------|-----------|---------|---------|---------|
| 商業実務 | | 商業実務 専門課程 | 医療秘書科 (単位制) | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 6 2 単位 | 8 1 単位 | 4 1 単位 | 4 単位 | 0 単位 | 0 単位 |
| | | | 単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 7 2 人 | | 2 0 人 | 0 人 | 3 人 | 7 人 | 1 0 人 | |

| |
|--|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| <p>（概要）</p> <p>授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。</p> |
| 成績評価の基準・方法 |
| <p>（概要）</p> <p>教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。</p> <p>科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。</p> <p>なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。</p> |
| 卒業・進級の認定基準 |
| <p>（概要）</p> <p>本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。</p> <p><目指すべき人材像></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者として、受付対応、レセプト業務、看護補助、医師事務作業補助者等ができる知識を有する。 ・病院・クリニックにおいてチーム医療の一員としての自覚を持ち、即戦力となる。 |
| 学修支援等 |

| |
|---|
| <p>(概要)</p> <p>クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。</p> |
|---|

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|---|------------|-------------------|------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 12人 (100%) | 0人 (0%) | 12人 (100%) | 0人 (0%) |
| (主な就職、業界等) | | | |
| 医療機関（病院・クリニック・調剤薬局） | | | |
| (就職指導内容) | | | |
| Wフォローアップ制度（生徒1名に対し教員2名が就職活動をサポート） 就職ガイダンスの実施・WEB求人検索システム「きゅりーなび」の活用 リクルートスタイル指導・ESシート、履歴書の個別添削・個別面接指導 | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）） | | | |
| 医療事務検定・調剤報酬請求事務技能検定試験・医療秘書技能検定試験・診療報酬請求事務技能検定試験・パソコン技能検定 等 | | | |
| (備考)（任意記載事項） | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|---|----------------|------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 22人 | 1人 | 4.5% |
| (中途退学の主な理由) | | |
| 学校生活不適應 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・入学前保護者会にて保護者の方へ学校生活のサポートを依頼 ・担任が入学後に一人ひとりと面談を実施 ・無断欠席者へ当日中に本人、あるいは保護者へ電話連絡し、状況の確認を行う。 ・担任会議にてクラス状況報告（学生情報）の共有を行い、学校教職員全体で生徒状況を把握し対応する。 ・学生の状況によっては、カウンセリング受診を推奨(スクールカウンセラーによる) | | |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 |
|------|--------------|------------------|-----|-------|
| 商業実務 | 商業実務 専門課程 | 医療 AI 科 (単位制) | ○ | |

| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
|--------|------|-----------------------|-------------|----------|---------|---------|---------|
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 62単位 | 44 単位 | 33 単位 | 4 単位 | 0 単位 | 0 単位 |
| 生徒総定員数 | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | |
| 72人 | 6人 | 0人 | 3人 | 5人 | 8人 | | |

| |
|---|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| （概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。 |
| 成績評価の基準・方法 |
| （概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| （概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。 |
| <目指すべき人材像> ・医療従事者として、受付対応、レセプト業務等ができる知識を有する。 ・IT パスポート・情報セキュリティマネジメントの国家資格を保持し、医療現場で活かせる ICT に関する知識を有する。 |
| 学修支援等 |
| （概要） クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。 |

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|---|------------|-------------------|-------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 5人 (100%) | 0人 (0%) | 4人 (80%) | 1人 (20%) |
| （主な就職、業界等） 医療機関(病院・クリニック) 病院情報システム管理会社 | | | |

| |
|---|
| (就職指導内容) W フォローアップ制度 (生徒 1 名に対し教員 2 名が就職活動をサポート) 就職ガイダンスの実施・WEB 求人検索システム「きゅりーなび」の活用 リクルートスタイル指導・ES シート、履歴書の個別添削・個別面接指導 |
| (主な学修成果 (資格・検定等)) IT パスポート・医療事務検定・調剤報酬請求事務技能検定試験 医療秘書技能検定試験 |
| (備考) (任意記載事項) |

| | | |
|--|----------------|-----|
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 8 人 | 0 人 | 0 % |
| (中途退学の主な理由) | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・入学前保護者会にて保護者の方へ学校生活のサポートを依頼 ・担任が入学後に一人ひとりと面談を実施 ・無断欠席者へ当日中に本人、あるいは保護者へ電話連絡し、状況の確認を行う。 ・担任会議にてクラス状況報告 (学生情報) の共有を行い、学校教職員全体で生徒状況を把握し対応する。 ・学生の状況によっては、カウンセリング受診を推奨 (スクールカウンセラーによる) | | |

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

| 学科名 | 入学金 | 授業料 (年間) | その他 | 備考 (任意記載事項) |
|---|-----------|-----------|-----------|---------------|
| 保育科 | 100,000 円 | 770,000 円 | 254,232 円 | 選択授業により金額変動あり |
| こども総合学科 | 100,000 円 | 770,000 円 | 255,192 円 | 選択授業により金額変動あり |
| 医療秘書科 | 100,000 円 | 740,000 円 | 230,578 円 | 選択授業により金額変動あり |
| 医療 AI 科 | 100,000 円 | 740,000 円 | 242,972 円 | 選択授業により金額変動あり |
| 修学支援 (任意記載事項) | | | | |
| 学費が一部免除になる、特待生制度 日本学生支援機構奨学金を利用した初期費用軽減&分割制度 | | | | |

b) 学校評価

| |
|-------------|
| 自己評価結果の公表方法 |
|-------------|

| | | |
|---|-------------------------|--------|
| (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sanko.ac.jp/disclosure/tachikawa-child/docs/schoolinfo.pdf | | |
| 学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） | | |
| <p>学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。</p> <p>学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「実施することを基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。</p> | | |
| 学校関係者評価の委員 | | |
| 所属 | 任期 | 種別 |
| 医療機関（病院）副院長 | 1年（令和5年4月1日より令和6年3月31日） | 業界（医療） |
| 医療機関（病院）職員 | 1年（令和5年4月1日より令和6年3月31日） | 卒業生 |
| 保育園 園長 | 1年（令和5年4月1日より令和6年3月31日） | 業界（保育） |
| 保育園 職員 | 1年（令和5年4月1日より令和6年3月31日） | 卒業生 |
| 通信制高校 キャンパス長 | 1年（令和5年4月1日より令和6年3月31日） | 学識経験者 |
| 学校関係者評価結果の公表方法 | | |
| (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sanko.ac.jp/disclosure/tachikawa-child/ | | |
| 第三者による学校評価（任意記載事項） | | |
| | | |

c) 当該学校に係る情報

| |
|--|
| (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sanko.ac.jp/tachikawa-child/ |
|--|

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

| | |
|-------|---------------|
| 学校コード | H113320200025 |
| 学校名 | 東京保育医療秘書専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人 三幸学園 |

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

| | | 前半期 | 後半期 | 年間 |
|--------------------|------|-----|-----|-----|
| 支援対象者（家計急変による者を除く） | | 30人 | 28人 | 31人 |
| 内訳 | 第Ⅰ区分 | 18人 | 16人 | |
| | 第Ⅱ区分 | - | - | |
| | 第Ⅲ区分 | - | - | |
| 家計急変による支援対象者（年間） | | | | 0人 |
| 合計（年間） | | | | 31人 |
| (備考) | | | | |

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

| | |
|----|----|
| 年間 | 0人 |
|----|----|

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

| | 右以外の大学等 | | |
|---|---------|-----|-----|
| | 年間 | 前半期 | 後半期 |
| 修業年限で卒業又は修了できないことが確定 | 0人 | 0人 | 0人 |
| 修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下) | 0人 | 0人 | 0人 |
| 出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況 | 0人 | 0人 | 0人 |
| 「警告」の区分に連続して該当 | 0人 | - | - |
| 計 | 0人 | - | - |
| (備考) 「右以外の大学等」欄には、修業年限3年以上の学科の人数を、「短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）」欄には修業年限2年以下の学科の人数を、それぞれ記入 | | | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

| 右以外の大学等 | | 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）」 | | | |
|---------|----|--|----|-----|----|
| 年間 | 0人 | 前半期 | 0人 | 後半期 | 0人 |

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

| | |
|---------|----|
| 退学 | - |
| 3月以上の停学 | 0人 |
| 年間計 | - |
| (備考) | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

| | |
|---------|----|
| 3月未満の停学 | 0人 |
| 訓告 | 0人 |
| 年間計 | 0人 |
| (備考) | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

| | 右以外の大学等 | 短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。） 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。） | |
|---|---------|---|-----|
| | 年間 | 前半期 | 後半期 |
| 修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下) | 0人 | 0人 | 0人 |
| GPA等が下位4分の1 | 0人 | 0人 | 0人 |
| 出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況 | 0人 | - | - |
| 計 | 0人 | - | - |
| (備考) 「右以外の大学等」欄には、修業年限3年以上の学科の人数を、「短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。） 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）」欄には修業年限2年以下の学科の人数を、それぞれ記入 | | | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。